

## 【プログラム4：発想の転換～逆転の発想で考えよう～】

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ
1分	全	1. ねらいを確認する。 <span style="float: right;">【1分】</span> [キーワード] ○多様な考え方
22分	G	2. 「こんなとき あなたは？」を通して考える。 <span style="float: right;">【11分】</span> (1) 4～5人のグループを作る。ピンチと思われる状況から、新しい状況を作り出すアイデアを出し合う。 ※1つの問いに対するアイデアを追求していくのではなく、いろいろな場面設定でのアイデアを出すことに時間をかける。 ※例題を中心に3～4問行う。
	全	(2) 出された考えや感想等を全体に紹介する。
	全	3. 逆転の発想を知る。 <span style="float: right;">【11分】</span> (1) 逆転の発想を知り、自分の「気になるところ」を、逆転の発想を使って考える。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>「せっかち」→「行動的」「がんこ」→「意思が強い、一貫性がある」  「のんびり」→「自分のペースをもっている」  「すぐカッとなる」→「情熱的」</p> </div>
	全	(2) 活動を振り返り、感想を全体に紹介する。
2分	全	4. まとめ <span style="float: right;">【2分】</span> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多様な見方・考え方で捉えることができることは、自分が失敗したときや困難に直面したときの回避法の1つとなる。</li> <li>・社会性の広がりとともに、自分が思うようにならなかつたり、困難にぶつかったりすることも多くなると思われる。そのとき、このことを思い出すと、自分の気持ちが軽くなる。</li> <li>・対人関係においても同じで、相手の嫌なところに目を向けるのではなく、見方を変えることによって、相手を受け入れようとする気持ちになる。</li> <li>・このような見方をしていくことで、交友関係や社会性が広がるだろうと考えられる。</li> </ul> </div>

### 【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・親は子どもに肯定的な言葉を使うことが大切である。ある1つの方向からだけの考えではなく、多方面からの見方・考え方があることを知ってほしい。そうすることによって、困難に直面したときの発想の転換につながるだろう。また、このような見方や考え方は、家族や子どもと関わっていく場合においても役に立つだろう。